

第2章 電子ジャーナル

自然科学系では、雑誌といえば、電子ジャーナルの形態で利用することが普通になってきました。気軽に利用できますが、利用のルールについて確認しておきましょう。

また、論文を閲覧する以外にどのような利用ができるのでしょうか。



2.1 電子ジャーナルとは

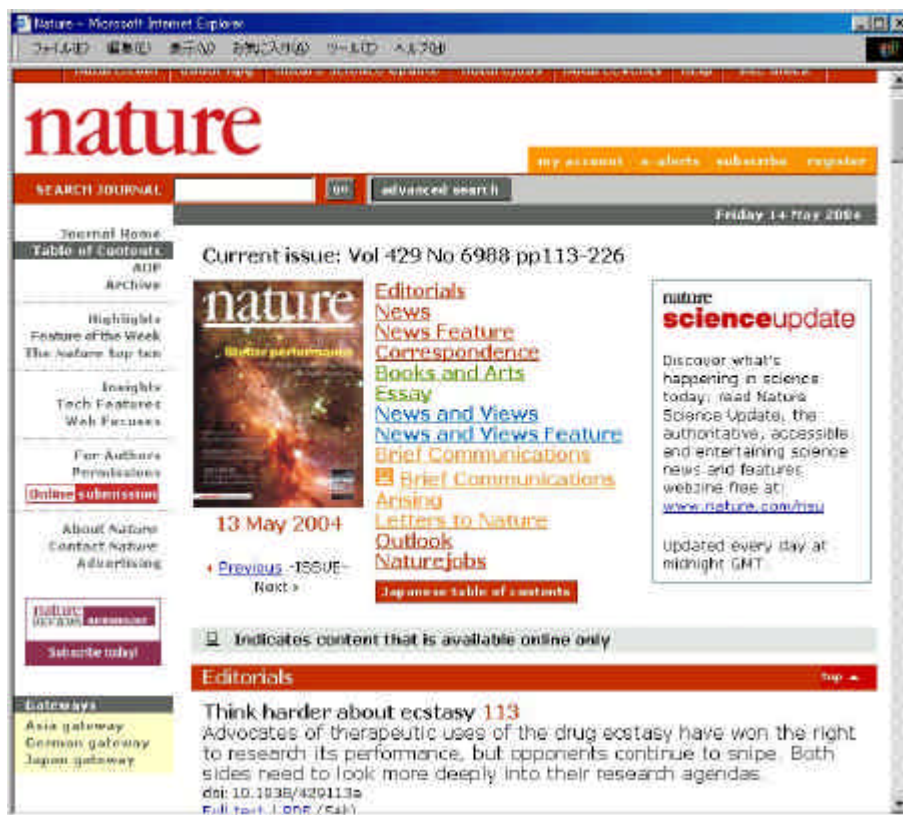
「雑誌」と言えば、図書館の新着雑誌コーナーに陳列されている印刷物を思い浮かべると思います。しかし大学においては、「電子ジャーナル」(Electronic Journal、E-Journal、Online Journal)と呼ばれる電子的形態の雑誌が急速に増えつつあります。

印刷物は、各機関に到着するまでに時間がかかるという、迅速さが求められる自然科学分野において致命的ともいえる問題を根本に抱えています。そこで1980年代頃から新しい利用形態として電子化の技術が注目されるようになりました。当初はCD-ROMなどのメディアも流通しましたが、1990年代前半にWWWやHTMLといったインターネットの技術が普及したことにより現在の電子ジャーナルが誕生しました。その後、利用時間や場所に制約のない電子ジャーナルは、多くの出版者が採用することとなりました。1999年頃までは印刷物購入に対する付加サービスという位置付けだったものが、現在ではむしろ電子ジャーナルが主流になりつつあります。

今や電子ジャーナルは、自然科学分野の情報源として欠かせないものとなっています。また、『Web of Science』など多くの2次情報データベースには、検索結果から電子ジャーナルにリンクする機能が備わっています(3.2.3 ほか参照)。

電子ジャーナルの特徴は、以下のとおりです。

- 自分の研究室から利用できる。
- 図書館の開館時間にかかわらず、24時間利用できる。
- 複数の利用者が同時に利用できる。
- キーワードや、著者名などからの検索機能も備えている。
- 『Web of Science』などのデータベースからリンクし、フルテキストを直接参照することができる。
- プリンタから出力する場合でも、印刷物とほぼ同じレイアウトで利用できる。
- 利用している文献の参考文献情報から、さらにフルテキストをたどれる場合もある。



図表 2-1 雑誌 Nature の電子ジャーナルウェブサイト

電子ジャーナルは、主に 2 種類のファイル形式で提供されています。

- PDF・・・Adobe 社が提唱しているファイル形式。
フリーソフト「Adobe Reader」で閲覧できる。
印刷物とほぼ同じレイアウトで利用できる。
- HTML・・・ウェブのページを作成する際に使用するファイル形式。
標準的なブラウザで閲覧でき、ファイルサイズが小さい。
目次や参考文献などにリンクがつき、該当部分や別文献をたどれる場合がある。

電子ジャーナルの利用においては、以下のことに注意する必要があります。

- 著作権と利用ルールを守る必要がある。コラム参照
- 利用できる年代が限られている。古い年代に刊行された巻号は、印刷物を利用する必要がある(利用可能な範囲については雑誌ごとに異なる)。
- 海外の雑誌に比べ、日本国内で刊行された雑誌については、電子ジャーナルになっていないものが多い。

コラム 電子ジャーナルの著作権と利用ルール

電子ジャーナルは、その雑誌の出版社と東北大学などの利用機関との間で利用契約を交わし、著作権を侵すような行為を禁じています。以下の利用ルールに違反した場合は不正行為と見なされ、大学全体の利用が停止されるなど、東北大学の研究活動に深刻な影響を及ぼすことになります。

- 利用は東北大学の構成員に限定されます。
- 利用は個人利用に限定され、その限りにおいて、著者・タイトルの1件ごとにダウンロード、および、印刷が認められます。それ以外の利用は一切認められません。
- ダウンロードソフトを使用しての文献の大量ダウンロードは、利用者の意図にかかわらず、契約違反とみなされます。
- 手動、ソフト使用にかかわらず、特定巻号全体にわたる文献のダウンロードは、特に禁止されています。今読む必要がある文献だけを1件ずつダウンロードしましょう。
- ダウンロードしたデータは個人的な目的のために保存することはできますが、データの改変や第三者への再配布はいかなるメディアでも禁止されています。

契約不要の無料ジャーナルも存在しますが、それらにも著作権・利用ルールはあります。よく読んでから利用してください。

2.2 本学での使い方

東北大学では、約 7,000 タイトルの電子ジャーナルが、大学内のパソコンから、個別の申請・許可なしで利用することができるようになっています。

それでは、使い方を見てみましょう。

例題 Aimo Winkelmann, “Dynamical simulations of zone axis electron channelling patterns...” Ultramicroscopy, vol.98, no.1, 2003, p.1-7 を電子ジャーナルで探してみる。

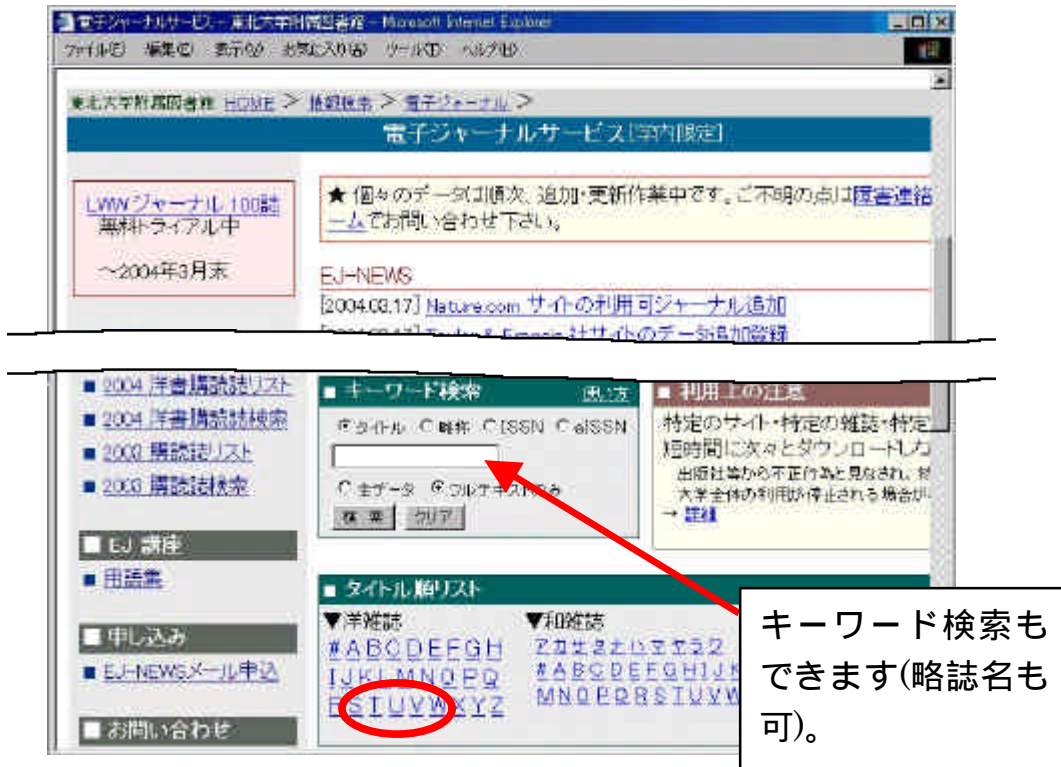
2.2.1 ホームページ「電子ジャーナル」からのアクセス

附属図書館ホームページから「電子ジャーナル」の項目をクリックします。利用上のルールが表示されますので、内容を読んで次のページに進んでください。

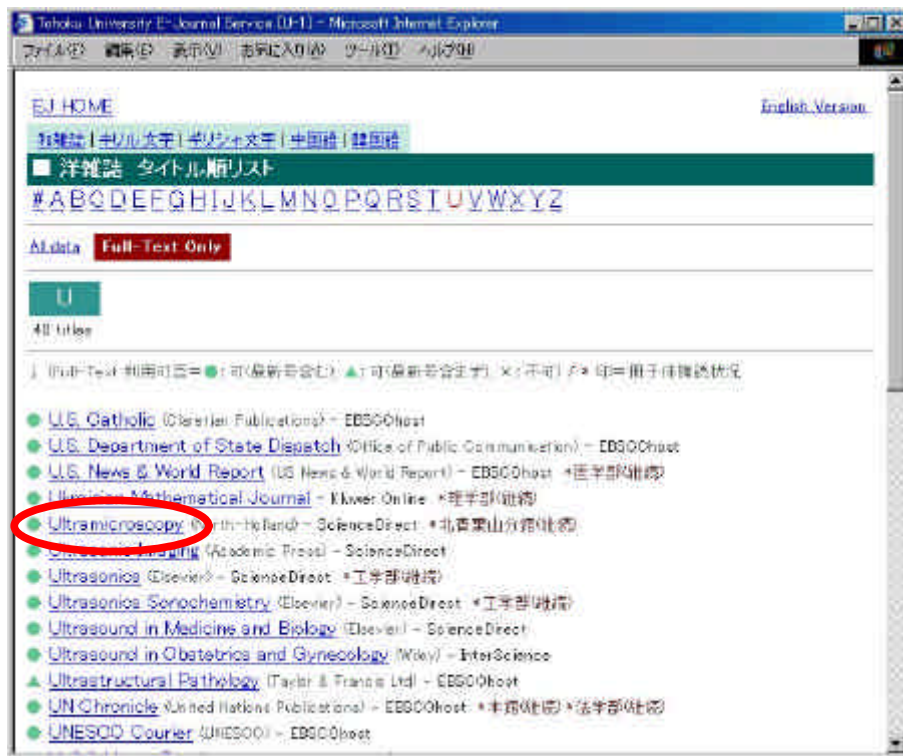
附属図書館の URL : <http://www.library.tohoku.ac.jp/>



「タイトル順リスト」から、見たい雑誌のイニシャルをクリックします。



タイトル一覧から、見たい雑誌のタイトルをクリックします。



詳細情報画面で利用できる年代などを確認し、雑誌タイトルをクリックします。

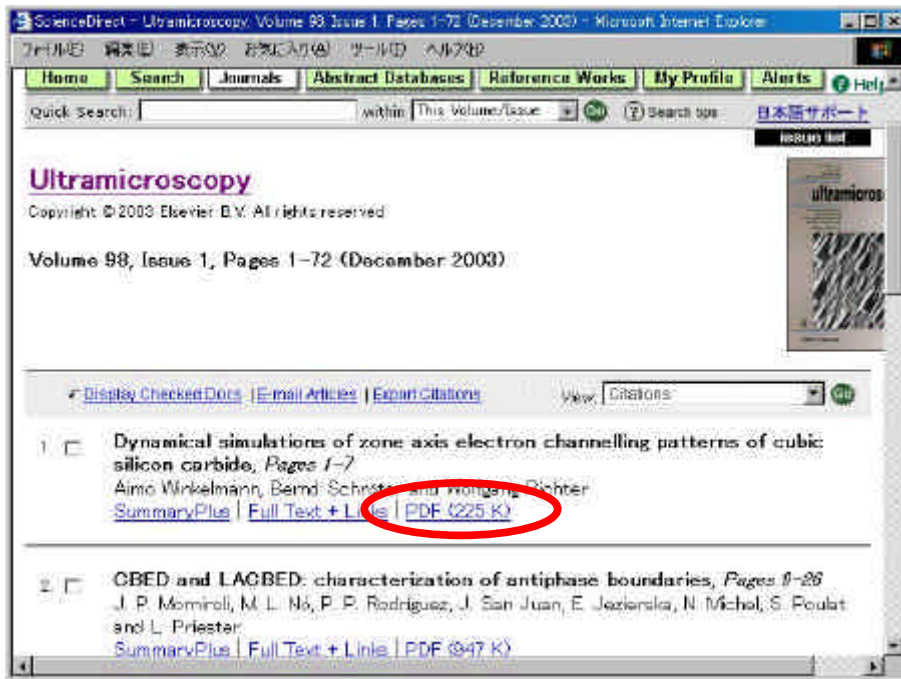
利用できる年代

「契約」「無料」なら利用可能

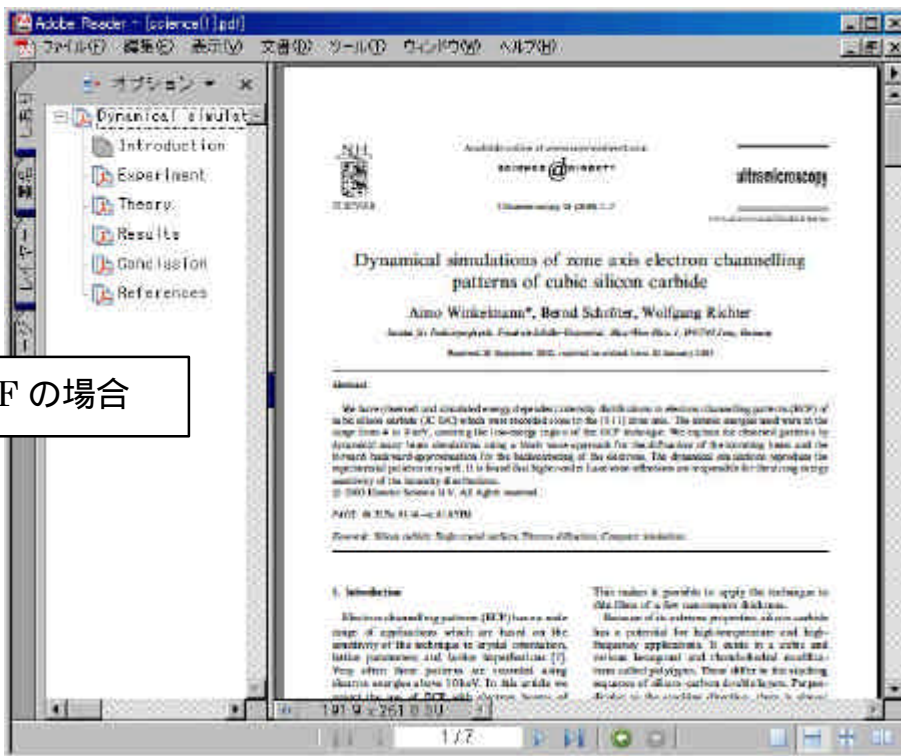
これ以降は各出版者のウェブサイトに移ります。さまざまな画面になりますが、利用までの流れはほぼ共通です。ここでは「Science Direct」(エルゼビア社)の流れで説明します。まず、巻号一覧(List of Issues)画面が表示されます。見たい巻号をクリックします。

subscribed : 契約済 (利用可能)
non-subscribed : 未契約 (利用不可)
complimentary : サンプル (利用可能)

選択した巻号の目次(Table of Contents)が表示されます。希望する文献の「Full Text」(HTML) や「PDF」をクリックします。



フルテキスト(本文)が表示されます。必要に応じて印刷して利用します。





HTML の場合

コラム 電子ジャーナルのウェブサイトでの主要な用語

電子ジャーナルのウェブサイトによく使われる用語を紹介します。

TOC(Table of Contents)、Contents : 目次

browse : 一覧を見る

current issue、latest issue : 最新号

archive、back issues、previous issues : バックナンバー(の一覧)

sample issue、free : サンプル号、無料で利用できる号

DOI(Digital Object Identifier) : 個々の文献に付与される電子的な情報のID番号

(先の例で挙げた文献のDOIは10.1016/S0304-3991(03)0021-4です。)

2.2.2 『Online Catalog』からのアクセス

『Online Catalog (東北大学蔵書検索)』で雑誌を検索し、下記の詳細画面が表示されたときに、「関連情報」として電子ジャーナル情報のリンクが表示されることがあります。



図表 2-2 『Online Catalog』でのリンク

このリンクをクリックすると、「電子ジャーナル」のページに移り、提供しているサイトの一覧が表示されます。いずれかを選択すれば2.2.1 の画面に進み、フルテキストまでアクセスすることができます(リンクから直接各ウェブサイトに移る場合もあります)。この関連情報リンクは更新が遅れることがありますので注意してください。



コラム 契約と利用

電子ジャーナルは、出版社と東北大学が契約を結ぶことによって利用できるようになると先のコラムで説明しました。その料金は、全学の各部局で分担して支払われています。

一方、契約していなくても利用できる電子ジャーナルもあります。

- 契約不要の無料ジャーナル
- 契約を要するものだが、サンプルとして公開された一部の文献・ページ



36	Issue 3, Fall 2003 FREE!
	Issue 2, Summer 2003 FREE!
35	Issue 3, Fall 2002
	Issue 2, Summer 2002

図表 2-3 サンプル(無料)の案内例

附属図書館の「電子ジャーナル」のページでは、このような雑誌も見つけ次第リストに掲載しています。ただし、フルテキスト利用可能と案内していない場合でも、各電子ジャーナルのウェブサイトまで調べてみると、入手できることがあります。

電子ジャーナルのウェブサイトは、各出版者により多種多様です。東北大学で契約した(利用できる)雑誌・巻号・文献を分りやすく示しているウェブサイトもあれば、利用できないものもあるのに、一見すると全て利用できるように示しているウェブサイトもあります。アクセス不可のメッセージが表示されたり、ID・パスワードを要求される画面になった場合は、利用できる範囲を「電子ジャーナル」のページに戻って確認してください。

利用可能と説明されているのにアクセスできない場合は、「電子ジャーナル」のニュースなどで障害の有無を確認してから、図書館にお知らせください。

2.3 関連サービス

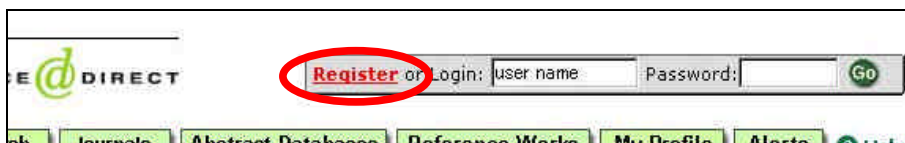
電子ジャーナルのウェブサイトでは、フルテキストを提供するだけでなく、付随する各種サービスを行っていることがあります。ユーザ登録が必要な場合もありますが、追加料金はかかりません。よく利用する電子ジャーナルにアクセスした際に、どのようなサービスがあるか確認してください。

2.3.1 コンテンツアラートサービス

あらかじめ指定した雑誌の最新号が登録されると、その目次を電子メールで通知(Alert)してくれるサービスです。このサービスによって、最新号が到着する頃に図書館に出向いたり、定期的にウェブサイトアクセスして目次を確認するということが必要になります。「Table of Contents Alert」というサービス名で多くは案内されており、非契約誌も申し込むことができます。ここでは、「Science Direct」(エルゼビア社)の「Volume/Issue Alerts」を紹介します。

(1) ユーザ登録

初めて利用するときは、最初にユーザ登録を行います。ページ上部の「Register」をクリックします。サービス概要や利用規約が表示されますので、よく読んでから次に進みましょう。

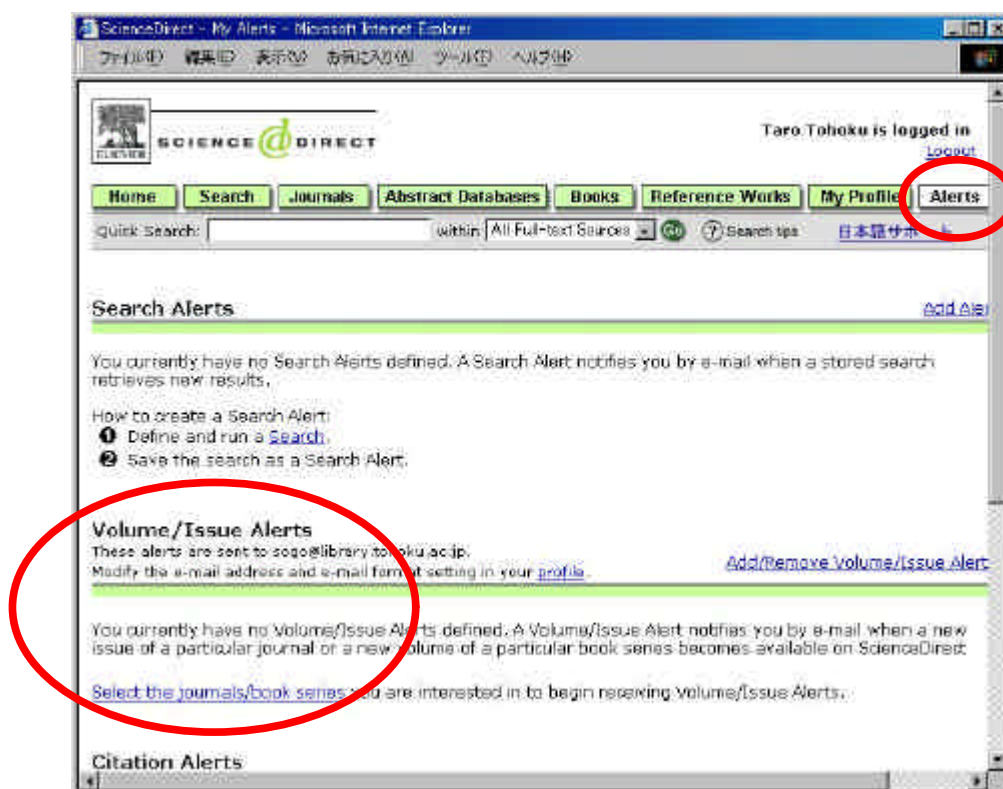


新規登録画面で必要事項(氏名、電子メールアドレスなど)を入力します。登録が完了すると、ユーザ名などが発行されます。

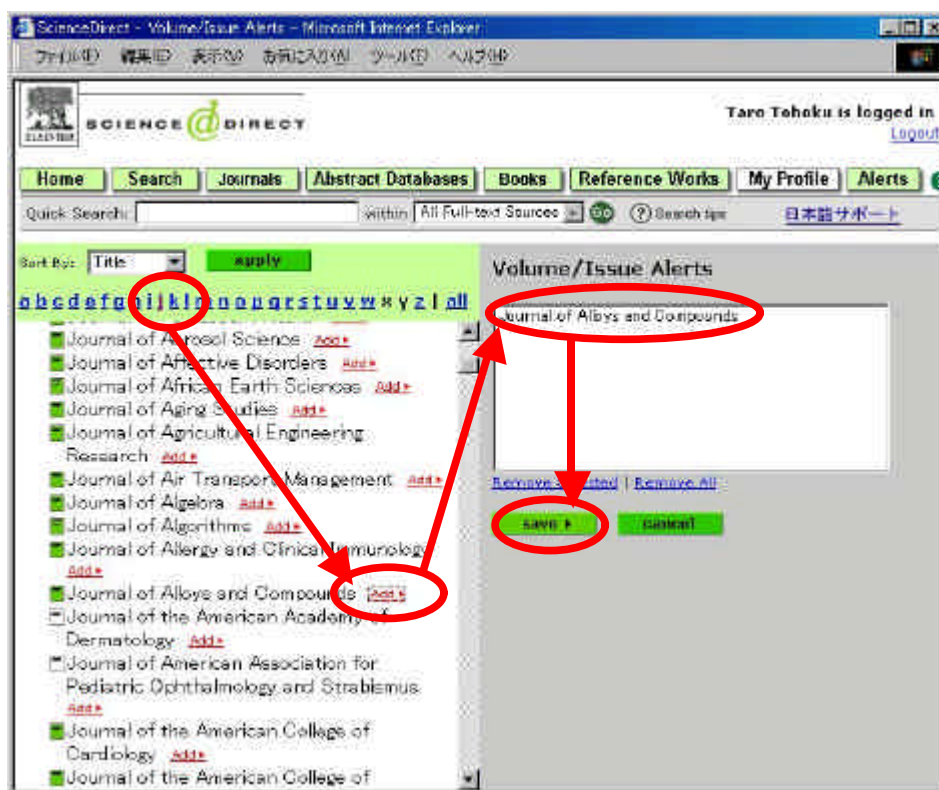
(2) 雑誌の指定

ログイン後、画面上部の「Alerts」をクリックして、専用ページに移ります。

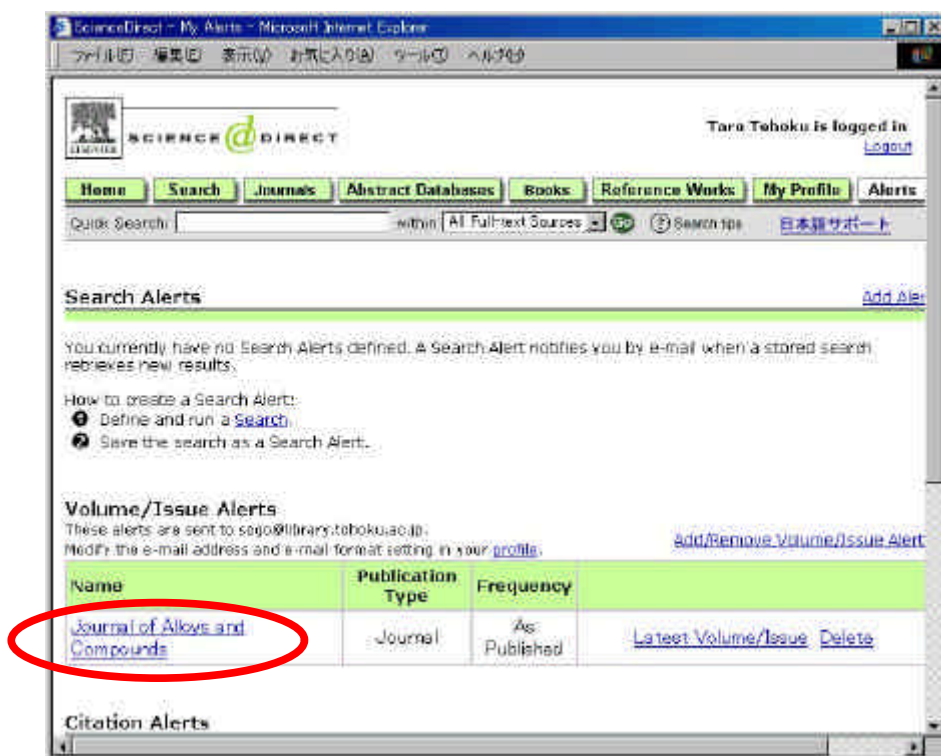
雑誌を指定するため、「Select the journals and books」をクリックします。



雑誌の一覧から希望する雑誌を「add」で選び、「save」で登録実行します。

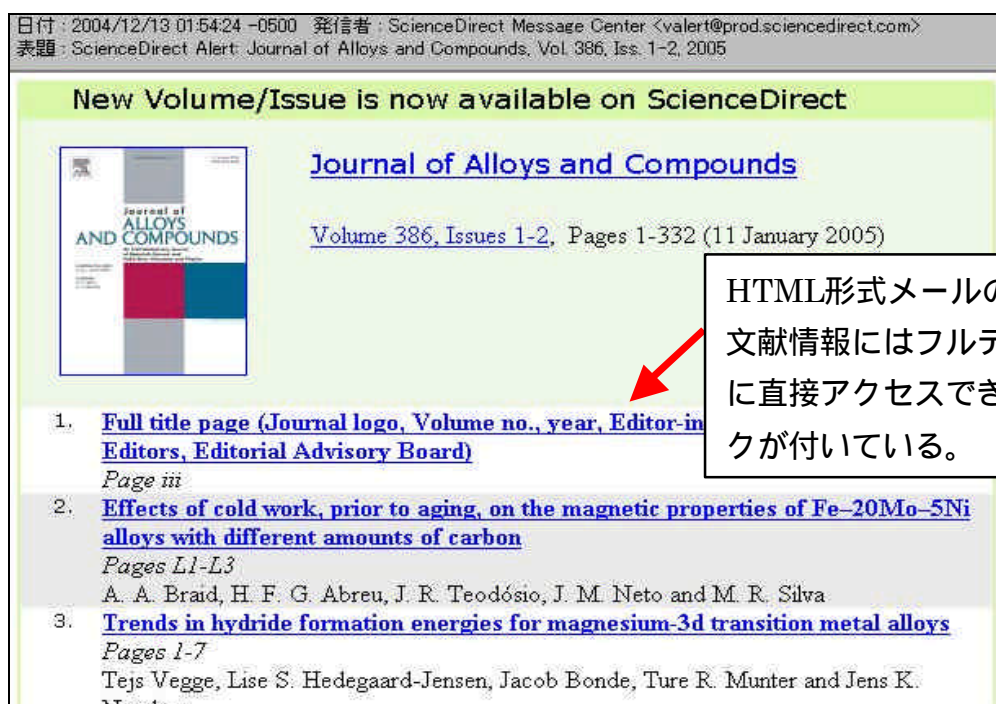


の画面に戻ると、選択した雑誌が登録誌として表示されます(登録解除もこの画面から随時行うことができます)。



(3) 目次の通知

最新号が登録されると、自動的に電子メールで目次が通知されます。

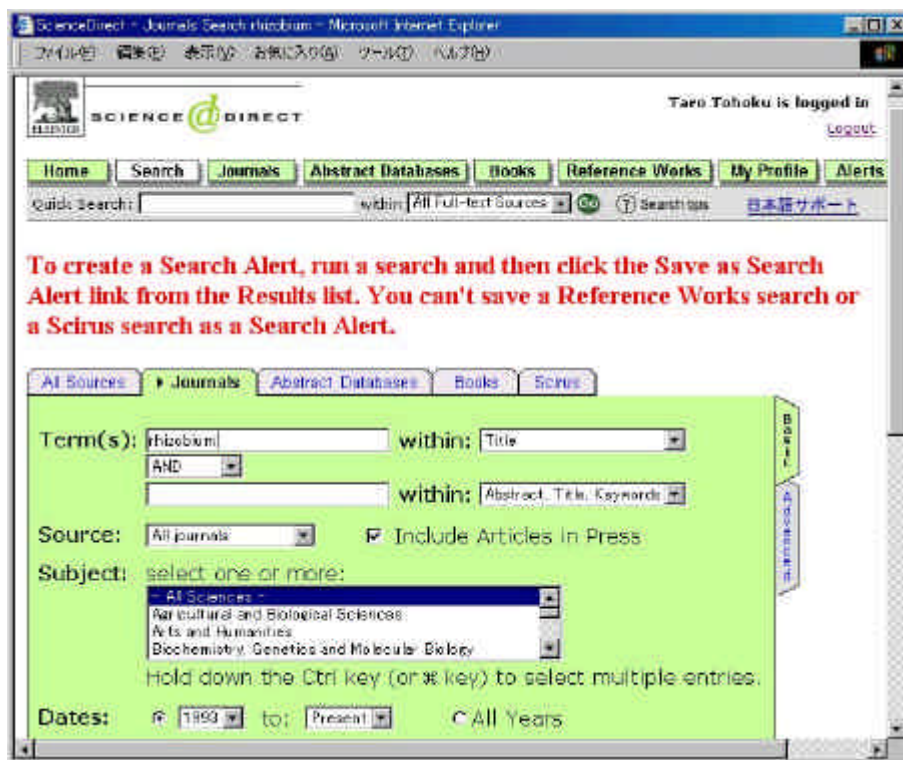


HTML形式メールの場合、各文献情報にはフルテキストに直接アクセスできるリンクが付いている。

2.3.2 SDI サービス

SDI サービスとは、あらかじめ自分の研究に関するキーワードや検索条件を登録しておく、定期的にデータベースを自動検索し、ヒットした文献の一覧などを電子メールなどで通知してくれるサービスです。SDI は「Selective Dissemination of Information (選択的情報提供)」の略ですが、各ウェブサイトでは「Search Alert(s)」、「Keyword Alert(s)」などいろいろな名称が使われています。

次章以降で紹介する『Ovid Online』などの文献探索ツールにも、ほぼ同じ機能があり、そちらは出版者を限定せず広く検索することができます。自分が得たい情報はどちらを利用したほうがよいかを考えて、使い分けてください。

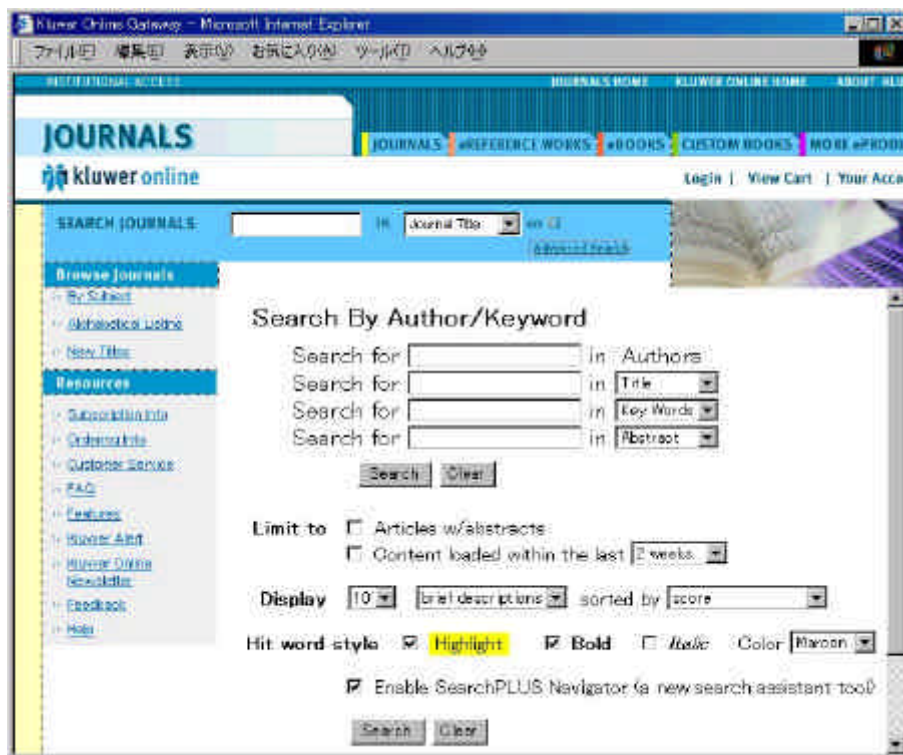


図表 2-4 SDI サービスの登録画面例

登録するキーワードは、各ツールで検索する場合と同様に工夫が必要です。専門的なキーワードにすればヒットする件数は少なくなり、必要なものだけを知ることができますが、同義語・関連語で表現した文献は、結果から漏れてしまいます。また、語尾変化があるキーワードはどうすればよいか(トランケーション記号を使うのか、使わなくても自動的に検索してくれるかなど)も確認した方がよいでしょう。詳細については、各ウェブサイトのヘルプを参照してください。

2.3.3 文献検索

次章以降で紹介する文献探索ツールを使用しなくても、各電子ジャーナルのサイトで、ある程度文献検索ができます。このサービスは、収録年代や対象誌が限られているため、網羅的に探したい場合には適していません。しかし、利用登録が不要で、学外からでも文献検索ができるというメリットがあります。各ウェブサイトの最初の画面では簡単な検索フォームしか表示されていませんが、主要な出版者は詳細検索メニューも用意しており、さまざまな条件を指定して検索することができます。



図表 2-5 Kluwer 社提供ウェブサイトでの「Advanced Search」画面

2.3.4 掲載予定文献の閲覧

雑誌に掲載予定の文献情報を見ることができますので、より早く最新情報を得たい場合に活用するとよいでしょう。「preview issues」、「in Press」、「in Print」、「in advance of print」などと案内されています。抄録だけではなく、フルテキストまで見られる場合もありますが、正式に掲載されるまでに差し替えられる場合もあります。利用する際には、その文献がどのような段階のものなのか確認しておきましょう。

コラム 個別購入

非契約誌でも、文献情報の詳細画面で「Buy」、「Purchase」、「Pay-Per-View」などの案内が表示されている場合は、文献単位で購入の手続きをとることができます。

まずは、利用内容（閲覧できる時間・回数）や、料金・支払方法などを確認してください。複写物を送るサービスもありますので、間違えないように注意しましょう。そして、相互利用サービス(付録 1 参照)での料金や支払い方法などと比較して、利用するかどうか判断してください。

checkout [need help?](#)

electronic deliveries

delivery method: display
Your article will be available for download for the next 24 hours. To access, select track orders and the relevant order number.

1. How building design imperatives constrain construction productivity and quality
Fox S.; Marsh L.; Cockerham G.
Engineering Construction and Architectural Management, October 2002, vol. 9, no. 5-6, pp. 378-387(10)
Blackwell Science Ltd, Oxford, UK

\$36.62

利用内容

料金

Payment: **Credit Card**

Your account will be debited by :

article fee: \$26.62 administration: \$10.00 tax: \$0.00 discount: \$0.00

TOTAL: \$36.62

Please enter your credit card details. If you would like **ingenta** to remember your payment details, check the remember details box. Next time you wish to pay for an article, you only need to enter your ingenta password. If you need to update these details, go to [manage profile](#).

図表 2-6 『ingenta』での個別購入申込画面

キャンパス散歩 - 花見編 1

歴史を重ねた片平キャンパスには堂々とした古木がたくさんあります。特に4月の桜の頃は絶好の花見スポットになります。

まずは、なんといっても本部前の桜です。満開のお昼には、大学内だけでなく、近所の会社の人や小さな子どもを連れた家族、お年寄りなど、多くの人で賑わいます。

ほかにも正門前、南門前、多元物質科学研究所の中庭、生協食堂前など、穴場がたくさん。あなたもお気に入りの場所をみつけて、友達とお弁当を広げませんか。

